

H15_ 緑の保全・整備・管理における NPO との連携方策に関する調査

調査項目 緑の保全・整備・管理における NPO との連携方策に関する調査

調査年次 平成15年度(4次調査) 章番号〔 〕

目的

平成14年度調査のフォローアップ、先進事例のより仕組みや推進手法の具体的な方策の整理、及びコスト調査を行い、推進の骨格の充実を図り今後の着手に対する際のガイドを作成する。

概要

追跡事例調査を行うとともにNPOとの連携に関連する法制度改正を把握し、公園行政とNPOとの連携・協働方策の検討とNPOへの委託を行う場合の費用算定方法の検討を行った。

結果

政令指定都市事例調査(追跡)のまとめ

行政の配慮すべき項目 自主活動の受入には行政の協働を目的を明確化。行政の呼びかけによる協働はNPOの育成に責任を果たす。助成は効果の検証により継続の可否を見極める。事業委託は特定の団体に偏在する傾向を避ける競争原理の検討。事業委託のための歩掛りや単価設定。

NPOの配慮を期待する項目 公共サービスを継続するためのガバナンスやスキルの向上に期待。行政と協働できる能力を備えたNPOの増加を期待。

公園・緑地行政とNPO等の連携・協働方策の検討

協働の段階の明確化(行政も団体も特に最初と最後が重要である)

準備段階: 事業計画と協働の必要性を整理 公募段階: 方法を決めてスピーディに

選択段階: 公平性と競争性 契約段階: 双方が不明な点を残さない協議

実施段階: フットワーク・信頼関係を深める 成果・評価段階: 次につながる評価・顧客主義の評価

NPO等へ事業委託を行う場合の費用算定方法の検討

委託費の基本構成 委託費は、基本的に事業費と管理費(間接経費)から構成される。

妥当な管理費(間接経費)率算定手法 公的機関では委託費の間接経費率は5~10%が慣例的に使われている。透明性・公平性を担保する方法として収支計算書に基づく管理比率算定手法もある。

単価の検討 様々なジャンルに及ぶ機能に対する報酬の確認を行い単価の参考とした。

・日本商工会議所人材ニーズ/臨時社員の賃金相場/アルバイトの賃金相場

・行政の生涯学習の場における報酬設定(春日市総合人材バンク)

・NPOの事業プログラムにおける料金設定(事業型及び中間支援型NPOでの事例)

NPO法人への事業委託が考えられるプログラムの例: 公園緑地で展開できるプログラムを例示し委託費算定に必要な項目の整理を行った。

課題

協働事業の成果を挙げるために(行政の課題)

〔初期の課題〕 協働事業を明確に位置づける。『行政にとってのメリット(担当部局か担当部署を超えて)』『市民にとってのメリット(参加性を高める事業)』『実施団体にとってのメリット(自立した団体として、パートナーとして)/求めるものを提示して十分な協議を(公共性の担保を一緒に考える)/役割分担』

〔実施の課題〕 フットワークを軽快に現場を楽しむ。フェアで緊張感のある信頼関係の醸成。決断力。

〔成果評価の課題〕 計画と連動した評価を。次につながる具体的な評価を。顧客主義の評価を協議事業の熟度を高めるために(NPOの課題) 目黒区管刈公園の例(整備の協議から始まり運営管理の団体として活動の好例、安定活動から次の発展、競争環境の構築、人材育成)

調査結果の反映等

調査項目 緑の保全・整備・管理におけるNPOとの連携方策に関する調査

調査年次 平成15年度(4次調査) 章番号〔 〕

キーワード

民有地緑地の保全、NPO、協働事業、事業委託単価、行政の課題

事例公園等

東京都 〔目黒区〕菅刈公園

川崎市 東田公園